

周防大島防災だより

第5回

地震津波災害発生時の心構え ～もしもの時に備えて～

近年、地震・津波災害により、人命や建物、ライフラン等に甚大な被害が発生しています。

これまでにもお知らせしたように、周防大島町においても東南海

の安全、火の始末、出口の確保など、いざという時の行動を普段から考えておくことが大切です。

次に優先すべきことは、隣近所や地域の人たちで声を掛け合い、助け合うことです。このためには、日ごろからコミュニケーションをとり、あらかじめ役割などを話し合っておくことが大切です。また、水と食糧の備蓄や非常持ち出し品の準備、家具などのたおれやすいものの固定などの安全対策も大切な準備です。

海・南海地震による被害発生が危ぶまれている。町としても新しい地域防災計画の作成や総合防災訓練等を行い、災害に備えた町の体制や国や県との連携を強化しています。

地震はいつ襲ってくるかわかりません。地震が発生してから何をすべきか考えているようでは、火災や津波に巻き込まれてしまいます。たとえ地震が発生しても、あわてず、一つひとつ冷静に対処していくことが大切です。そのためには、日ごろから防災意識を持ち、そして、実際に訓練を積むことが大切です。訓練をすることによって、個人としての防災力を向上させるだけでなく、地域としての防災力を向上させることができます。

しかし、いざ災害が発生したときに被害を最小限におさえるには、一人ひとりがあわてずに、適切な行動をとることが最も大切です。特に生死を分けるといわれている地震発生直後から数10分の間は、自分たちで身を守る以外に方法はありません。

町では、これからも防災に関する説明会などのイベントを行い、住民の防災活動を支援していきます。

ここで、あらためて地震時の心構えについて考えてみましょう。まず優先すべきことは、自分と家族の安全を確保することです。助からなければ、他人を助けることもできません。そのためには、身

災害の被災者になって後悔する前に準備し、適切な対策をとってください。普段からの心掛けで最悪の事態になることを防ぎましょう。

周防大島町消防出初式

1月5日、東和総合センターで周防大島町消防出初式が行われました。

式典では、功績のあった人の表彰や消防団長による訓示があり、団員は防災への決意を新たにしました。



周防大島町は平成15年12月、東南海・南海地震防災対策推進地域の指定を受けています。今後30年以内に南海地震が発生する確率は50%とされています。地震や津波を防ぐことはできませんが、日ごろからの訓練や防災知識の普及等により震災被害を軽減することは可能です。ぜひ、ご参加ください。

※都合のよい会場へお越しください。

演題「はじめよう！考えよう！みんなの防災」

講師 山口大学工学部助教授 瀧本浩一先生

- ◆ 2月3日(金)午後7時～
橋総合センター
- ◆ 2月4日(土)午後1時～
東和総合センター
- ◆ 2月17日(金)午後7時～
大島文化センター
- ◆ 2月18日(土)午後1時～
久賀総合センター

防災セミナーが
開催されます。

